

雪崩災害防止セミナーの開催

開催主旨：

我が国は世界でも有数の雪の多い国です。国土の約半分が豪雪地帯に指定されており、そこで約2,000万人が生活を営んでいます。豪雪地帯は、北海道、東北、日本海沿岸及び山間部にわたって指定されており、これらの地域では大量の降雪だけでなく、雪が様々な影響を生活に及ぼしています。特に、山間部の住民にとって雪崩は大きな脅威であり、生活への影響のみならず、犠牲者を伴う被害も少なくありません。

今から約10年前の「平成18年豪雪」では、北海道から北陸・山陰地方にかけて記録的な降雪に見舞われ、雪崩災害や集落の孤立が多発しました。その後も平成23年（山陰）、平成24年（北海道）、平成25年（東北）と豪雪年が続き、社会的に大きな問題となりました。

翌年の平成26年2月には、積雪深を計測している気象庁アメダスのうち18地点で観測史上1位の積雪深を記録し、山梨県と東京都で人家の一部が破損するなど、集落に被害を及ぼす雪崩が8件発生しました。道路上の積雪や雪崩の発生によって交通障害が発生し、多くの孤立集落が生じました。

また、平成29年3月には栃木県那須町にて雪崩により8名もの高校生らの尊い命が失われるなど、毎年のように山岳地やスキー場周辺においても雪崩死亡事故が発生しています。

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取組の一環として、本格的な雪のシーズンを前に、国民一人ひとりが雪崩災害の防止及び被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、毎年12月1日から7日を「雪崩防災週間」として定め、様々な取組を実施しています。その一環として、雪崩災害について理解を深めることを目的としたセミナーを下記のとおり開催します。

記

1. 日時・会場

開催日：平成30年1月17日（水） 13:30～16:30
場所：山形県 生涯学習センター 遊学館 山形県山形市緑町1丁目2-36
JR山形駅から市役所経由路線バスで市役所前下車・徒歩5分
(<http://www.gakushubunka.jp/yugakukan/>)

2. 開催機関

主催：国土交通省
共催：山形県・国立研究開発法人土木研究所
協賛：雪崩防災週間推進協議会

3. 参加費・参加申し込み

参加費無料、事前申し込み制（先着順・FAXにて申し込みください）
（対象・参加人数：雪崩対策に関わる行政担当者および民間コンサルタント等の技術者、及び関心のある方300名程度）

4. 申し込み先等

申し込み期限：平成29年12月26日（火）
申し込み先：山形県県土整備部砂防・災害対策課
担当：相原 TEL：023-630-3132 FAX：023-625-3866

5. プログラム

開 会		(13:30~13:40)
	主催者挨拶 国土交通省砂防部長 栗原 淳一 開催県挨拶 山形県県土整備部長 角湯 克典	
雪崩災害防止セミナー		(13:40~16:25)
《特別講演》		(13:40~14:20)
	「山形の冬を乗り切るために ～天気予報活用術～」 気象予報士 大江 和美	
《基調講演》		(14:20~15:10)
	「雪崩についてわかっていること知らないこと」 新潟大学名誉教授 和泉 薫	
《休 憩》		(15:10~15:20)
《報 告》		(15:20~15:50)
	「栃木県那須町で発生した雪崩災害について」 防災科学技術研究所センター長 上石 勲氏	
《話題提供》		(15:50~16:25)
	「山形県における雪害及び雪崩対策について（仮）」 山形県	(15:50~16:05)
	「土木研究所における雪崩対策に関する取り組み」 土木研究所土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター 主任研究員 原田 裕介	(16:05~16:25)
閉 会		(16:25~16:30)
	東北地方整備局 河川部長 高村 裕平	

6. 問い合わせ先

雪崩災害防止セミナー

(国研) 土木研究所 雪崩・地すべり研究センター

担当：原田・石田 Tel 0255-72-4131 Fax 0255-72-9629